

病院があるからこそできること

広報げろ 2011.3

病院があるからこそできること（市立金山病院の役割）

病院では外来診療、入院診療、ドックなどの検診などで地域の皆さんに近く病院として便宜を図っています。これらの業務は病院としては当然のことですが、病院がなければできません。今回は病院があればこそできることについてのお話です。

◎医師の専門性を生かした診療

病院には複数の医師が常駐し一般患者の外来、入院での診療に携わりながら病院に備わった診療機器を駆使してそれぞれが持っている専門性を生かした診断、治療を行っています。市立金山病院の内科では高血圧、糖尿病を中心に内分泌系疾患の診療、外科では胃がん、大腸がん、乳がんなどで専門技術を生かした診療を行っています。慢性疾患の治療には通院しやすいこと、がんの治療はきめ細かい経過観察が必要で、これは近くに病院があつてこそできることです。

◎身近な検診体制

病院では各種の検診を行っていますが、検診結果による精密検査にも力を入れています。胃がん、大腸がんの内視鏡検査、肺ガンのCT検査、乳がんの精密検査など近くで受診できる環境を提供しています。

◎骨折の治療

太ももの骨折など大きな骨折は搬送の合併症も多く、できるだけ近くの病院で手術を行う必要があります。当病院では麻酔標ぼう医が常駐し大学から整形外科専門医を呼んで危険を伴う高齢者の手術も行っています。手術を行える病院があるからこそできることで、術後のリハビリにも対応しています。

◎小児科診療

当病院の小児科は診療圏唯一の小児科として多くの方々から信頼を得ています。小児科の維持は小児科医の並々ならぬ努力と金山病院の維持によって可能となっているのです。

◎救急医療

救急患者は文字通り一刻も早い治療が必要ですが、当地域では高速道路は遠く高次病院への搬送には一時間以上を要します。ドクターヘリもいつも飛べるとは限りません。搬送するにしてもまずは救命し、患者を搬送できる状態に保つ医学的処置が必要で、このためにも近くに応急処置ができる病院がなければなりません。

◎地域活動

当病院は小学校3校、中学校1校の学校医として内科、耳鼻科、歯科検診などを受け持ち、金山サニーランドの配置医、地域企業の産業医などを引受け地域活動を行っています。これも病院が存在しそこに医師がいるからできることです。

◎ いよいよ今月から新病院の建設が始まります。よりよい病院となるために皆様のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

下呂市立金山病院院長 古田智彦